

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月19日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 T&Dホールディングス
 コード番号 8795 URL <http://www.td-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月27日

(氏名) 宮戸 直輝
 (氏名) 坂井 啓三

TEL 03-3434-9151

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	1,269,891	11.5	34,388	△65.9	3,696	△88.8
19年9月中間期	1,138,496	2.5	100,765	21.0	33,071	18.9

	1株当たり中間純利益		潜在株式調整後1株当たり中間純利益	
	円 銭		円 銭	
20年9月中間期	15.01		—	
19年9月中間期	134.30		—	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
20年9月中間期	12,918,700		473,064		3.6		1,913.96	
20年3月期	13,366,056		677,273		5.1		2,743.16	

(参考) 自己資本 20年9月中間期 471,255百万円 20年3月期 675,453百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	65.00	65.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	2,340,000	0.4	56,000	△64.0	2,000	△94.6	8.12	

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名)
- (2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細につきましては、8頁の【定性的情報・財務諸表等】5. その他をご参照願います。
- (3) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 20年9月中間期 246,330,000株 20年3月期 246,330,000株
 ② 期末自己株式数 20年9月中間期 110,002株 20年3月期 98,215株
 ③ 期中平均株式数(中間期) 20年9月中間期 246,226,310株 19年9月中間期 246,245,053株

(個別業績の概要)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	18,265	3.1	16,566	2.5	16,534	2.5	16,494	2.7
19年9月中間期	17,718	18.5	16,158	19.5	16,124	19.2	16,054	19.3

	1株当たり中間純利益	
	円 銭	
20年9月中間期	66.99	
19年9月中間期	65.20	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
20年9月中間期	621,029		591,964	95.3			2,404.21	
20年3月期	633,217		591,549	93.4			2,402.41	

(参考) 自己資本 20年9月中間期 591,964百万円 20年3月期 591,549百万円

2. 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	3.6	16,000	△2.5	16,000	△2.1	16,000	△1.0	64.98

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成していません。
- 実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。連結業績予想・個別業績予想についての詳細は7頁「4. 業績予想に関する定性的情報」に記載しておりますのでご参照願います。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

経常収益は、保険料等収入8,520億円（前年同期比1.7%増）、資産運用収益2,092億円（同3.7%減）、その他経常収益2,085億円（同150.5%増）等を合計した結果、前中間連結会計期間に比べ1,313億円増加し、1兆2,698億円（同11.5%増）となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金9,445億円（同13.2%増）、資産運用費用1,429億円（同128.4%増）、事業費1,060億円（同2.4%増）、その他経常費用415億円（同13.6%増）等を合計した結果、前中間連結会計期間に比べ1,977億円増加し、1兆2,355億円（同19.1%増）となりました。

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益は、前中間連結会計期間に比べ663億円減少し、343億円（同65.9%減）となりました。経常利益が減少したのは主に、利息及び配当金等収入が減少したことや有価証券評価損が増加したことによります。

特別利益は19億円（同64.0%減）、特別損失は21億円（同87.1%減）となりました。特別損失は主に、価格変動準備金繰入額14億円（同89.6%減）であります。

経常利益に特別利益、特別損失、契約者配当準備金繰入額、法人税及び住民税等、法人税等調整額等を加減した中間純利益は、前中間連結会計期間に比べ293億円減少し、36億円（同88.8%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は12兆9,187億円（前連結会計年度末比3.3%減）となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券8兆7,518億円（同5.3%減）、貸付金2兆3,351億円（同1.2%減）、買入金銭債権5,062億円（同17.6%増）、現金及び預貯金3,104億円（同0.6%増）、有形固定資産3,061億円（同1.0%減）であります。

負債合計は12兆4,456億円（同1.9%減）となりました。その大部分を占める保険契約準備金は11兆9,580億円（同1.5%減）となっております。

純資産合計は4,730億円（同30.2%減）となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は553億円（同77.6%減）となっております。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは主に、保険金等支払金が増加したことにより、前中間連結会計期間に比べ、1,124億円の支出が増加し、1,330億円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは主に、有価証券の売却・償還による収入が増加したことにより、前中間連結会計期間の975億円の支出から、2,086億円の収入（3,061億円の収入増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは主に、短期社債の償還による支出が増加したことにより、前中間連結会計期間に比べ161億円支出増の、201億円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の中間期末残高は、期首から531億円増加し、1兆357億円となりました。

3. 生命保険会社3社(単体)に関する事項

(1) 経営成績に関する定性的情報

■太陽生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入3,162億円(前年同期比4.3%減)、資産運用収益1,132億円(同4.0%増)、その他経常収益1,279億円(同94.1%増)を合計した結果、前中間会計期間に比べ522億円増加し、5,574億円(同10.3%増)となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金4,193億円(同11.3%増)、資産運用費用543億円(同52.3%増)、事業費384億円(同0.4%増)等を合計した結果、前中間会計期間に比べ660億円増加し、5,360億円(同14.1%増)となりました。

この結果、経常利益は、前中間会計期間に比べ137億円減少し、214億円(同39.2%減)となりました。経常利益が減少したのは主に、利息及び配当金等収入が減少したことや有価証券評価損が増加したことによります。

特別利益は10億円(同262.6%増)、特別損失は2億円(同97.5%減)となりました。

中間純利益は、前中間会計期間に比べ12億円減少し、85億円(同12.8%減)となりました。

なお、基礎利益(生命保険本業の期間収益を示す指標の一つ)は、逆ざや120億円(同85.0%増)を埋め合わせたうえで、235億円(同22.9%減)となりました。

■大同生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入4,143億円(前年同期比1.2%減)、資産運用収益915億円(同14.3%減)、その他経常収益1,237億円(同178.9%増)を合計した結果、前中間会計期間に比べ590億円増加し、6,297億円(同10.3%増)となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金4,819億円(同18.1%増)、資産運用費用556億円(同99.0%増)、事業費584億円(同1.9%増)等を合計した結果、前中間会計期間に比べ1,031億円増加し、6,044億円(同20.6%増)となりました。

この結果、経常利益は、前中間会計期間に比べ441億円減少し、253億円(同63.5%減)となりました。経常利益が減少したのは主に、有価証券評価損が増加したことや、売買目的有価証券運用損益が減少したことによります。

特別利益は7億円(同85.1%減)、特別損失は18億円(同70.5%減)となりました。

中間純利益は、前中間会計期間に比べ228億円減少し、41億円(同84.8%減)となりました。

なお、基礎利益は537億円(同20.2%減)となりました。また、当中間会計期間において、順ざやは70億円(同36.1%減)となりました。

■T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

経常収益は、保険料等収入1,213億円(前年同期比37.8%増)、資産運用収益53億円(同7.6%増)、その他経常収益51億円(同9.9%増)を合計した結果、前中間会計期間に比べ341億円増加し、1,318億円(同34.9%増)となりました。

一方、経常費用は、保険金等支払金433億円(同13.4%減)、責任準備金等繰入額603億円(同39.9%増)、資産運用費用329億円(同13,042.4%増)、事業費80億円(同6.6%増)等を合計した結果、前中間会計期間に比べ432億円増加し、1,460億円(同42.0%増)となりました。

この結果、経常損失は、前中間会計期間に比べ90億円増加し、141億円(同181.3%増)となりました。中間純損失は、前中間会計期間に比べ62億円増加し、99億円(同173.3%増)となりました。なお、基礎利益は、△131億円(同288.8%増)となりました。また、逆ざやは18億円(同7.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

■太陽生命保険株式会社

当中間会計期間末の総資産は5兆9,686億円(前事業年度末比3.5%減)となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券3兆8,534億円(同7.2%減)、貸付金1兆4,800億円(同0.1%減)、有形固定資産1,612億円(同0.6%減)、買入金銭債権1,583億円(同1.3%減)であります。

負債の部合計は5兆8,169億円(同1.9%減)となりました。その大部分を占める保険契約準備金は5兆6,203億円(同1.9%減)となっております。

純資産の部合計は1,517億円(同40.3%減)となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は328億円(同75.9%減)となっております。

保険会社の健全性を示す行政監督上の指標のうち、ソルベンシー・マージン比率は881.5%(前事業年度末は1,000.6%)となりました。また、実質純資産(時価ベースの実質的な資産から資本性のない実質的な負債を差引いた額)は4,676億円(前事業年度末は6,597億円)となりました。

■大同生命保険株式会社

当中間会計期間末の総資産は5兆7,628億円(前事業年度末比4.7%減)となりました。

主な資産構成は、公社債を中心とする有価証券3兆9,295億円(同5.5%減)、貸付金8,641億円(同2.9%減)、買入金銭債権3,478億円(同28.8%増)、現金及び預貯金1,734億円(同2.4%増)、有形固定資産1,390億円(同1.0%減)であります。

負債の部合計は5兆4,806億円(同3.4%減)となりました。その大部分を占める保険契約準備金は5兆2,644億円(同2.4%減)となっております。

純資産の部合計は2,822億円(同24.6%減)となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は239億円(同78.6%減)となっております。

ソルベンシー・マージン比率は971.3%(前事業年度末は1,095.3%)となりました。また、実質純資産は6,379億円(前事業年度末は7,764億円)となりました。

■T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

当中間会計期間末の総資産は1兆1,008億円(前事業年度末比4.9%増)となりました。

主な資産構成は、有価証券9,711億円(同3.9%増)、金銭の信託381億円(同26.5%増)、コールローン310億円(同5.1%増)、現金及び預貯金233億円(同13.0%増)であります。

負債の部合計は1兆841億円(同6.1%増)となりました。その大部分を占める保険契約準備金は1兆709億円(同5.9%増)となっております。

純資産の部合計は167億円(同37.9%減)となりました。純資産の部中、その他有価証券評価差額金は△14億円(同25.0%増)となっております。

ソルベンシー・マージン比率は656.2%（前事業年度末は912.4%）となりました。また、実質純資産は539億円（前事業年度末は637億円）となりました。

（参考）契約業績の状況

■太陽生命保険株式会社

当中間会計期間の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高（転換による純増加を含みます）は、7,786億円（前年同期比7.5%増）となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、5,979億円（同13.8%減）となりました。

以上の結果、当中間会計期間末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、17兆698億円（同1.7%減、前事業年度末比0.7%減）となりました。

■大同生命保険株式会社

当中間会計期間の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高（転換による純増加を含みます）は、2兆843億円（前年同期比14.1%減）となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、1兆8,965億円（同6.4%増）となりました。

以上の結果、当中間会計期間末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、39兆5,961億円（同0.8%減、前事業年度末比0.8%減）となりました。

■T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

当中間会計期間の個人保険、個人年金保険を合計した新契約高（転換は取り扱っておりません）は、1,059億円（前年同期比65.9%増）となりました。

一方、個人保険、個人年金保険を合計した解約失効高は、718億円（同19.5%減）となりました。

以上の結果、当中間会計期間末の個人保険、個人年金保険を合計した保有契約高は、2兆1,997億円（同10.0%減、前事業年度末比2.7%減）となりました。

4. 業績予想に関する定性的情報

(1) 連結

平成20年3月期決算短信(平成20年5月19日公表)で公表いたしました「平成21年3月期 通期の連結業績予想」を次のとおり修正いたします。

(単位：百万円)

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	2,100,000	115,000	39,000	158円39銭
今回発表予想(B)	2,340,000	56,000	2,000	8円12銭
増減額(B-A)	240,000	△59,000	△37,000	——
増減率(%)	11.4	△51.3	△94.9	——
(ご参考)前期実績	2,330,071	155,712	36,749	149円24銭

(修正理由)

経済環境や当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、経常収益は、主に有価証券売却益等の資産運用収益の増加を見込むことから、2,400億円増加の2兆3,400億円に修正いたします。一方、経常利益、当期純利益は、主に有価証券売却損や有価証券評価損等の資産運用費用の増加を見込むことから、経常利益は590億円減少の560億円、当期純利益は370億円減少の20億円に修正いたします。

(参考) 生命保険会社3社(単体)の通期業績予想

(単位：百万円)

	太陽生命	大同生命	T&D フィナンシャル生命
経常収益	1,080,000 (150,000)	1,120,000 (100,000)	320,000 (50,000)
経常利益	41,000 (12,000)	37,000 (△59,000)	△25,000 (△11,000)
うち基礎利益	41,000 (△5,000)	78,000 (△29,000)	△21,000 (△17,000)
当期純利益	8,000 (△5,000)	10,000 (△24,000)	△17,000 (△7,000)

(注) 括弧内は、前回発表予想(平成20年5月19日公表)からの増減額

(2) 単体

平成20年3月期決算短信(平成20年5月19日公表)で公表いたしました、下記業績予想からの修正はありません。また、1株当たり年間配当金予想、1株当たり年65円についても修正はいたしません。

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
通期	20,000	16,000	16,000	16,000

5. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① リース取引に関する会計基準の適用

<借主側>

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、当中間連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（企業会計審議会第一部会 平成5年6月17日）平成19年3月30日改正）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（日本公認会計士協会会計制度委員会 平成6年1月18日）平成19年3月30日改正）が適用されたことに伴い、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

<貸主側>

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、当中間連結会計期間より「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（企業会計審議会第一部会 平成5年6月17日）平成19年3月30日改正）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（日本公認会計士協会会計制度委員会 平成6年1月18日）平成19年3月30日改正）が適用されたことに伴い、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

6. 中間連結財務諸表

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金及び預貯金	310,402	308,428
コールローン	209,200	279,800
買入金銭債権	506,240	430,592
金銭の信託	104,440	134,769
有価証券	8,751,840	9,244,528
貸付金	2,335,113	2,363,476
有形固定資産	306,143	309,279
無形固定資産	24,228	23,755
代理店貸	1,250	1,382
再保険貸	9,288	8,472
その他資産	179,401	199,089
繰延税金資産	183,867	66,419
貸倒引当金	△ 2,717	△ 3,940
資産合計	12,918,700	13,366,056
負債の部		
保険契約準備金	11,958,001	12,137,756
支払備金	73,538	75,264
責任準備金	11,706,649	11,875,618
契約者配当準備金	177,813	186,873
代理店借	1,046	280
再保険借	398	491
短期社債	19,985	27,971
社債	20,000	20,000
その他負債	174,795	232,992
役員賞与引当金	107	210
退職給付引当金	117,876	116,849
役員退職慰労引当金	3,983	4,242
特別法上の準備金	138,729	137,269
価格変動準備金	138,729	137,269
繰延税金負債	11	10
再評価に係る繰延税金負債	10,700	10,708
負債合計	12,445,636	12,688,782
純資産の部		
資本金	118,595	118,595
資本剰余金	106,106	106,106
利益剰余金	239,640	251,934
自己株式	△ 712	△ 638
株主資本合計	463,630	475,998
その他有価証券評価差額金	55,307	246,874
繰延ヘッジ損益	368	571
土地再評価差額金	△ 48,029	△ 48,014
為替換算調整勘定	△ 20	24
評価・換算差額等合計	7,625	199,455
少数株主持分	1,808	1,820
純資産合計	473,064	677,273
負債純資産合計	12,918,700	13,366,056

(2) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
経常収益	1,138,496	1,269,891
保険料等収入	837,958	852,033
資産運用収益	217,244	209,257
利息及び配当金等収入	153,856	140,018
金銭の信託運用益	9,783	3,355
売買目的有価証券運用益	3,588	—
有価証券売却益	45,148	64,485
その他運用収益	1,480	1,398
特別勘定資産運用益	3,387	—
その他経常収益	83,271	208,577
責任準備金戻入額	44,652	168,968
その他の経常収益	38,618	39,608
持分法による投資利益	21	23
経常費用	1,037,730	1,235,503
保険金等支払金	834,634	944,566
保険金	337,551	344,111
年金	86,725	94,125
給付金	153,589	149,432
解約返戻金	193,014	216,027
その他返戻金	63,753	140,870
責任準備金等繰入額	458	450
契約者配当金積立利息繰入額	458	450
資産運用費用	62,595	142,954
支払利息	1,112	1,004
売買目的有価証券運用損	—	8,052
有価証券売却損	20,662	28,072
有価証券評価損	16,242	41,686
金融派生商品費用	9,107	14,010
為替差損	2,958	2,540
貸倒引当金繰入額	186	—
貸付金償却	161	6
貸貸用不動産等減価償却費	2,845	2,752
その他運用費用	9,320	8,208
特別勘定資産運用損	—	36,620
事業費	103,507	106,024
その他経常費用	36,533	41,508
経常利益	100,765	34,388
特別利益	5,369	1,935
固定資産等処分益	5,340	647
貸倒引当金戻入額	—	1,190
償却債権取立益	27	49
その他	1	47
特別損失	16,983	2,195
固定資産等処分損	2,699	654
減損損失	302	—
価格変動準備金繰入額	13,980	1,460
その他	0	81
契約者配当準備金繰入額	25,667	17,206
税金等調整前中間純利益	63,484	16,920
法人税及び住民税等	37,295	22,689
法人税等調整額	△ 6,932	△ 9,482
少数株主利益	49	18
中間純利益	33,071	3,696

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	118,595	118,595
当中間期末残高	118,595	118,595
資本剰余金		
前期末残高	106,106	106,106
当中間期変動額		
自己株式の処分	1	△ 0
当中間期変動額合計	1	△ 0
当中間期末残高	106,107	106,106
利益剰余金		
前期末残高	231,678	251,934
当中間期変動額		
剰余金の配当	△ 16,006	△ 16,005
中間純利益	33,071	3,696
土地再評価差額金の取崩	△ 625	14
当中間期変動額合計	16,439	△ 12,294
当中間期末残高	248,117	239,640
自己株式		
前期末残高	△ 496	△ 638
当中間期変動額		
自己株式の取得	△ 104	△ 83
自己株式の処分	6	9
当中間期変動額合計	△ 97	△ 74
当中間期末残高	△ 594	△ 712
株主資本合計		
前期末残高	455,883	475,998
当中間期変動額		
剰余金の配当	△ 16,006	△ 16,005
中間純利益	33,071	3,696
自己株式の取得	△ 104	△ 83
自己株式の処分	7	9
土地再評価差額金の取崩	△ 625	14
当中間期変動額合計	16,343	△ 12,368
当中間期末残高	472,226	463,630

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	680,401	246,874
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 29,845	△ 191,566
当中間期変動額合計	△ 29,845	△ 191,566
当中間期末残高	650,556	55,307
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	488	571
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	46	△ 202
当中間期変動額合計	46	△ 202
当中間期末残高	534	368
土地再評価差額金		
前期末残高	△ 48,501	△ 48,014
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	625	△ 14
当中間期変動額合計	625	△ 14
当中間期末残高	△ 47,876	△ 48,029
為替換算調整勘定		
前期末残高	48	24
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	19	△ 45
当中間期変動額合計	19	△ 45
当中間期末残高	68	△ 20
評価・換算差額等合計		
前期末残高	632,435	199,455
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 29,153	△ 191,829
当中間期変動額合計	△ 29,153	△ 191,829
当中間期末残高	603,282	7,625
少数株主持分		
前期末残高	1,909	1,820
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 18	△ 11
当中間期変動額合計	△ 18	△ 11
当中間期末残高	1,891	1,808
純資産合計		
前期末残高	1,090,229	677,273
当中間期変動額		
剰余金の配当	△ 16,006	△ 16,005
中間純利益	33,071	3,696
自己株式の取得	△ 104	△ 83
自己株式の処分	7	9
土地再評価差額金の取崩	△ 625	14
株主資本以外の項目の当中間期変動額 (純額)	△ 29,172	△ 191,840
当中間期変動額合計	△ 12,829	△ 204,209
当中間期末残高	1,077,400	473,064

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	63,484	16,920
賃貸用不動産等減価償却費	2,845	2,752
減価償却費	6,952	6,226
減損損失	302	—
のれん償却額	17	—
支払備金の増減額(△は減少)	△ 5,399	△ 1,725
責任準備金の増減額(△は減少)	△ 44,652	△ 168,968
契約者配当準備金積立利息繰入額	458	450
契約者配当準備金繰入額(△は戻入額)	25,667	17,206
貸倒引当金の増減額(△は減少)	184	△ 1,192
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 64	△ 103
退職給付引当金の増減額(△は減少)	293	1,027
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	264	△ 258
価格変動準備金の増減額(△は減少)	13,980	1,460
利息及び配当金等収入	△ 153,856	△ 140,018
有価証券関係損益(△は益)	△ 15,219	49,945
支払利息	1,112	1,004
為替差損益(△は益)	2,994	2,401
有形固定資産関係損益(△は益)	△ 3,012	△ 421
持分法による投資損益(△は益)	△ 21	△ 23
代理店貸の増減額(△は増加)	112	132
再保険貸の増減額(△は増加)	△ 381	△ 815
その他資産(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は増加)	△ 5,081	△ 6,337
代理店借の増減額(△は減少)	△ 868	765
再保険借の増減額(△は減少)	140	△ 92
その他負債(除く投資活動関連、財務活動関連) の増減額(△は減少)	△ 570	△ 3,565
その他	7,345	17,686
小計	△ 102,973	△ 205,541
利息及び配当金等の受取額	149,953	141,660
利息の支払額	△ 1,097	△ 984
契約者配当金の支払額	△ 31,189	△ 26,711
その他	3,095	△ 1,288
法人税等の支払額	△ 38,369	△ 40,212
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,580	△ 133,079

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額(△は増加)	△ 1,350	△ 1,420
買入金銭債権の取得による支出	△ 50,655	△ 36,290
買入金銭債権の売却・償還による収入	18,549	34,378
金銭の信託の増加による支出	△ 11,000	△ 8,600
金銭の信託の減少による収入	15,200	40,879
有価証券の取得による支出	△ 1,701,553	△ 1,779,815
有価証券の売却・償還による収入	1,646,322	1,942,662
貸付けによる支出	△ 318,863	△ 259,305
貸付金の回収による収入	327,897	289,145
その他	△ 24,383	△ 10,997
資産運用活動計	△ 99,835	210,636
営業活動及び資産運用活動計	△ 120,416	77,557
有形固定資産の取得による支出	△ 4,669	△ 3,359
有形固定資産の売却による収入	7,002	1,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 97,503	208,677
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期社債の発行による収入	9,965	—
短期社債の償還による支出	—	△ 8,005
借入れによる収入	5,150	7,300
借入金の返済による支出	△ 3,420	△ 3,717
リース債務の返済による支出	—	△ 10
自己株式の取得による支出	△ 104	△ 83
自己株式の処分による収入	7	9
配当金の支払額	△ 15,618	△ 15,618
少数株主への配当金の支払額	△ 32	△ 31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,052	△ 20,158
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3,165	△ 2,286
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 125,301	53,154
現金及び現金同等物の期首残高	1,217,045	982,596
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,091,744	1,035,750

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)、当中間連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

当社及び連結子会社は生命保険事業以外にリース業等の事業を営んでおりますが、生命保険事業の経常収益及び経常利益の金額は、全セグメントの経常収益の合計及び経常利益の合計に占める割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報は記載を省略しております。

なお、投資事業は生命保険事業の一環として行っており、独立したセグメントではありません。

【所在地別セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)、当中間連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

全セグメントの収益の合計に占める本邦の割合が、90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)、当中間連結会計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

海外売上高(経常収益)が連結売上高(経常収益)の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

7. 中間財務諸表
(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間会計期間末 (平成20年9月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,913	523
有価証券	18,000	17,000
その他	15,993	30,575
流動資産合計	35,907	48,099
固定資産		
有形固定資産	116	120
無形固定資産	9	11
投資その他の資産		
関係会社株式	583,215	583,215
その他	1,780	1,770
投資その他の資産合計	584,996	584,985
固定資産合計	585,122	585,118
資産合計	621,029	633,217
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	9,329	24,770
その他	7,066	4,284
流動負債合計	16,396	29,055
固定負債		
長期借入金	10,700	10,700
役員退職慰労引当金	422	367
その他	1,545	1,545
固定負債合計	12,668	12,612
負債合計	29,064	41,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	118,595	118,595
資本剰余金		
資本準備金	450,903	450,903
その他資本剰余金	3	3
資本剰余金合計	450,907	450,907
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	23,174	22,684
利益剰余金合計	23,174	22,684
自己株式	△ 712	△ 638
株主資本合計	591,964	591,549
純資産合計	591,964	591,549
負債純資産合計	621,029	633,217

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
営業収益		
関係会社受取配当金	16,129	16,494
関係会社受入手数料	1,588	1,771
営業収益合計	17,718	18,265
営業費用		
販売費及び一般管理費	1,560	1,698
営業利益	16,158	16,566
営業外収益	47	49
営業外費用	81	81
経常利益	16,124	16,534
税引前中間純利益	16,124	16,534
法人税、住民税及び事業税	81	17
法人税等調整額	△ 11	22
法人税等合計	69	40
中間純利益	16,054	16,494

(3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	118,595	118,595
当中間期末残高	118,595	118,595
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	450,903	450,903
当中間期末残高	450,903	450,903
その他資本剰余金		
前期末残高	3	3
当中間期変動額		
自己株式の処分	1	△ 0
当中間期変動額合計	1	△ 0
当中間期末残高	4	3
資本剰余金合計		
前期末残高	450,907	450,907
当中間期変動額		
自己株式の処分	1	△ 0
当中間期変動額合計	1	△ 0
当中間期末残高	450,908	450,907
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	22,524	22,684
当中間期変動額		
剰余金の配当	△ 16,006	△ 16,005
中間純利益	16,054	16,494
当中間期変動額合計	48	489
当中間期末残高	22,572	23,174
利益剰余金合計		
前期末残高	22,524	22,684
当中間期変動額		
剰余金の配当	△ 16,006	△ 16,005
中間純利益	16,054	16,494
当中間期変動額合計	48	489
当中間期末残高	22,572	23,174
自己株式		
前期末残高	△ 496	△ 638
当中間期変動額		
自己株式の取得	△ 104	△ 83
自己株式の処分	6	9
当中間期変動額合計	△ 97	△ 74
当中間期末残高	△ 594	△ 712
株主資本合計		
前期末残高	591,530	591,549
当中間期変動額		
剰余金の配当	△ 16,006	△ 16,005
中間純利益	16,054	16,494

	前中間会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
自己株式の取得	△ 104	△ 83
自己株式の処分	7	9
当中間期変動額合計	△ 47	415
当中間期末残高	591,482	591,964
純資産合計		
前期末残高	591,530	591,549
当中間期変動額		
剰余金の配当	△ 16,006	△ 16,005
中間純利益	16,054	16,494
自己株式の取得	△ 104	△ 83
自己株式の処分	7	9
当中間期変動額合計	△ 47	415
当中間期末残高	591,482	591,964

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。